

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	基礎情報学		
英文授業科目名	Fundamentals of Informatics		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択必修科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	福田 豊		
居室	西6-509		

公開E-Mail	授業関連Webページ
fukuda@hc.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>情報技術（IT）は、いわば現代のプロメテウスの火である。それは、産業技術であると同時に、私たちの知的活動を支えて、新たな社会的文脈を形成するポテンシャルをもつものである。しかし、使いこなす私たちの主体的力量が問われるものでもある。使い方や対応を誤れば、これまでの社会における光と陰を単に増幅するに過ぎないものとなる。この講義では、情報社会を読み解くために必要な知識の習得を通じ、生活日常の中で情報を活用する基礎的な能力（情報リテラシー）を獲得することを目指す。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
<p>教科書は特に定めない。参考書には以下のようなものがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福田豊・須藤修・早見均著『情報経済論』（有斐閣アルマシリーズ）</li> <li>2. 山口重克・福田豊・佐久間英俊編著『ITによる流通変容の理論と現状』（御茶の水書房）</li> <li>3. 山口重克編『新版市場経済』（名古屋大学出版会）</li> </ol>

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

授業は講義をメインとするが、その際、理解を助けるために毎回特別に各種資料を配布して使用する。予習・復習としては、ICTがいかなる問題解決のために導入され利用されているかについて、常にニュースに触れることを求める。

講義内容は以下のような構成となる

- 1 技術革新と経済・社会
- 2 通信技術の発展
- 3 放送技術の発展
- 4 情報処理技術(コンピュータ)の発展
- 5 デバイスの発展
- 6 情報化進展の第1フェーズ
- 7 情報化進展の第2フェーズ
- 8 情報化進展の第3フェーズ
- 9 情報化進展の第4フェーズ
- 10 情報概念
- 11 意味づけ活動と情報類型
- 12 市場経済システムと情報
- 13 - 15: 補足・予備

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末試験とレポートによる。講義の目標を60%を達成している場合に合格とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

火曜日5限

### 【学生へのメッセージ】

情報ないし情報化概念は、社会の複雑で有機的な関連をこれまでにはない視角から明らかにできる新しい切り口を提供してくれると同時に、新たな社会的コンテクストを形成するためにとるべき途を指し示してくれる。予備知識は特に求めないが、新聞などを良く読み、社会に対する現実的な感覚を磨いておくこと。特に情報技術や情報ネットワークに関する話題については注意するように。

### 【その他】

なし